

市町村名	北大東村
------	------

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-	食の安心基盤構築事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				農林水産業の振興 -1-(6)

事業内容
北大東村の定住化を支える農業振興と台風等の災害時の食料確保を支える基盤整備に向け、種苗等生産施設を整備し、村による地域の種苗供給等の農業基盤を構築する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	146,000	-		
		(b)予算現額	146,000	-		
		(c)増減額(b-a)	0	-		
		(d)繰越額	-	134,660		
		A.計(b+d)	146,000	134,660		
		B.執行済額	11,340	129,423		
		うち交付金充当額	9,072	103,538		
		次年度繰越額	134,660	0		
		執行率(%) (B/A)	7.8%	96.1%		
		予算の状況の説明	・農業者から他の作物の栽培に影響ないところへの建設の要望があり、その調整及び基本計画の変更(面積・建物の配置等)に不測の日数を要した為、134,660千円を平成25年度へ繰越した。			

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		種苗等生産施設の整備	目標	(1棟)	()	()
		実績	1棟			
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	農業振興と台風災害時の食料確保を支える基盤整備に向け、種苗等生産施設整備を行った。村による地域への野菜の種苗・さとうきびの側枝苗供給の農業基盤を構築した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
		種苗等生産施設の整備	目標	(1棟)	()	()	()
			実績	1棟			
			目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	農業振興と台風災害時の食料確保を支える基盤整備に向け、種苗等生産施設整備を行った。平成26年度からの稼働により、地域への野菜種苗・さとうきびの側枝苗と生産量増加に繋げ、生活コストの低減化を図っている。						

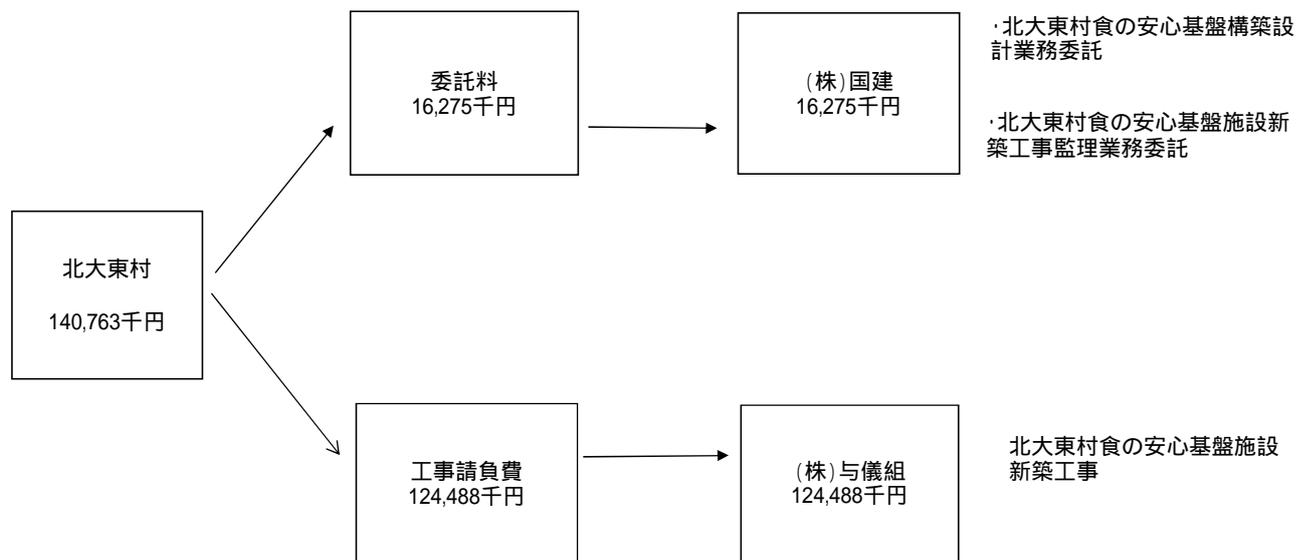
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	施設整備をしていく中で、種苗の供給・生産量とコスト低減化に向けての課題が上がった。施設雇用者に関しては、雇用者2人の成果がでた。	サザンプラント・農業改良普及員等による生産技術指導を行い、新規雇用者の栽培技術向上に繋げ、農家への種苗供給・生産安定を図り、コスト低減化に向け取り組む余地がある。

今後の取り組み方針

種苗生産等施設の整備による農業基盤構築によって島内の農業生産体制が強化され、離島の定住を支える農業振興が促進された。今後は野菜の種苗・さとうきびの側枝苗の生産量を増加させ、地域への供給を図り、生活コスト低減・農業振興に繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
140,763	140,763	112,610	28,153	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 工事請負業者、委託業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北大東村
------	------

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-	定住受入基盤構築事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
				- 9

事業内容
 北大東村に若者を呼び戻し、島外や県外からの移住を促進する為、集合住宅(4世帯)を建設し、定住者の受入基盤を整備する。尚、島外住宅の入居者選定に当たっては、観光や農業等、島の産業高度化に寄与する人材を優先する。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他
-------------	------	----	----	----	-----

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	70,000	-			
	(b)予算現額	94,069	-			
	(c)増減額(b-a)	24,069	-			
	(d)繰越額	-	52,054			
	A.計(b+d)	94,069	52,054			
	B.執行済額	42,015	52,054			
	うち交付金充当額	33,612	33,267			
	次年度繰越額	52,054	0			
	執行率(%) (B/A)	44.7%	100.0%			
予算の状況の説明	・住民から来島者と交流しやすい場所に建設するよう要望があり、その調整及び基本計画の変更(面積・建物の配置等)の日数を要した為、52,054千円を平成25年度へ繰越した。又、予算額の増額理由については、住宅以外の付帯施設(外壁・浄化槽)整備の為、事業費増額となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		多用途集合住宅の整備	目標	(1棟(4世帯))	()	()
	実績	1棟(4世帯)				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	島外・県外からの移住を促進する為、多用途集合住宅を4世帯建設した。入居にあたっては、農業や観光等従事者の若年層や専門・指導員等を優先的に受入れ、島の産業高度化につなげる。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
		多用途集合住宅の整備	目標	() (1棟(4世帯))	()	()	()
			実績	1棟(4世帯)			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	多用途集合住宅整備の実施により、島外からの入居者を受け入れた。農業専門技術者等の受入によって、農業振興の基盤整備が図られている。						

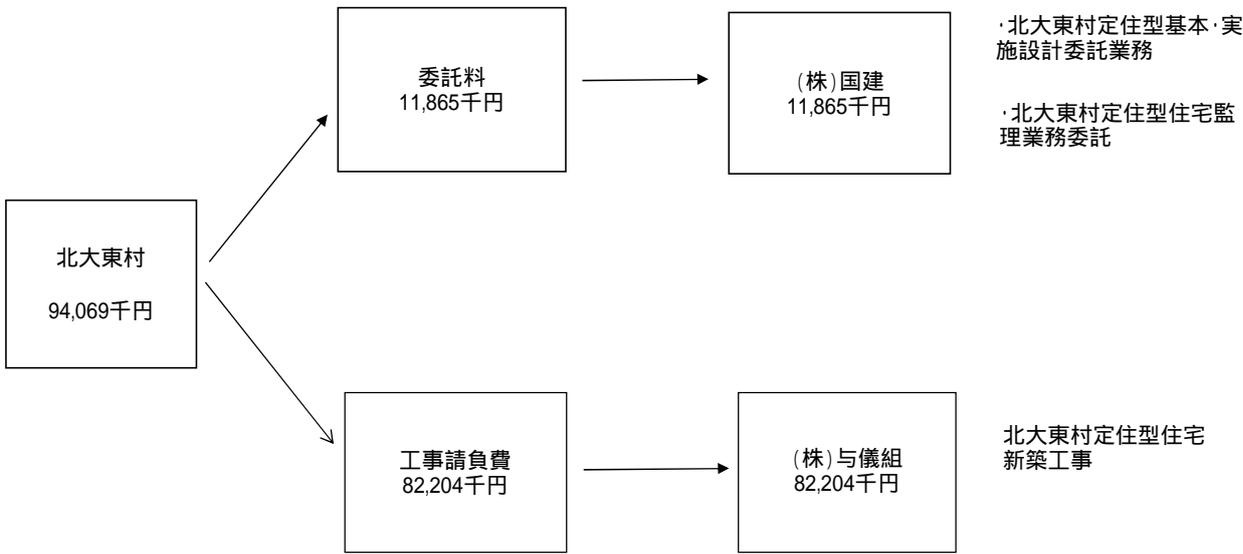
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>多用途集合住宅を整備していく中で、入居者選定の基準が課題となった。(島外・県外) 公共施設に従事する農業や観光等従事者を優先するよう基準を設け、島の産業高度化へ繋がるよう、入居対象者選定の要望があった。</p>	<p>多用途集合住宅を整備後、平成26年6月末現在、全世帯入居済みと一定の効果があった。一方で、今回整備した住宅は家族向けの為、独身・単身者からの住宅整備のニーズもあり、今後の住宅整備について検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

多用途集合住宅が整備された事により、県外からの入居者を受け入れ、定住促進・雇用増加・担い手・人材育成等に大きく寄与した。又、今後の取り組みとして、独身・単身赴任従事者等の受入基盤整備の要望もあり、村住宅整備や雇用状況を見ながら整備を検討していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
94,069	94,069	66,879	27,190	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 工事請負業者、委託業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であったと考えている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		